



発行:土居隣保館 〒799-0703 土居町藤原 5-400-3 TEL/FAX 28-6356

【館長のきづき】



部落問題を考えるフォーラム～四国中央市人権対策協議会青年部が報告～

8月22日(土)砥部町文化会館で「部落問題を考えるフォーラム」が開催されました。この事業は、「ハンセン病問題を考えるフォーラム」という名称で実施されていましたが、部落差別解消推進法が施行されたことを受けて、法の具現化に向けた取組の一環として「部落問題を考えるフォーラム」として実施されるようになったものです。今年度で3年目を迎えましたが、社会人だけでなく小学生、中学生、高校生の参加もあり、差別をなくそうと取り組んでいる人たちの熱気で溢れています。

会場はいつも満杯ですが、それでも今までは入場制限なく参加できていました。しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響で、参加者が会場のスペースの半分以下に制限されたため、希望しても参加できない人が多くいたようです。

松野町あおぞら子ども会、伊予市立港南中学校、宇和島市遠見子ども会、四国中央市人権対策協議会青年部からそれぞれ報告があり、その後、意見交換が行われました。四国中央市からは「青年部の仲間と共に学ぶ」と題して青年部の2名から報告がありました。子ども会でのつながりの大切さや青年部の活動を通して学んだことを、自分たちの体験を交えて堂々と伝えきりました。

そして最後に二人はそれぞれ

・「自分の大切な子どもが普通に生活して、部落差別を受けるようなこともなく、自分の出身のことを伝えようかと悩む必要もなく、ただ好きな相手と当たり前で結婚ができる。部落の人間が遠慮する必要もなく、負い目を感じる必要もない、全ての人々が堂々と生きられる、そんな当たり前の生活ができるように一歩ずつ部落差別解消への道を歩んでいきます」

・「僕はこれからも、住んでいる場所で人の値打ちを決めつける、この絶対に許せない部落差別と闘っていきます。青年部の仲間をはじめ、ここにいるたくさんの仲間と一緒に、差別を無くしたいと思います」

と締めくくりました。

仲間と共に差別と闘って行くという明確な姿勢が会場全体に伝わり、二人の報告は多くの共感を得ることができました。また、子ども会がなぜ必要なのかを再確認させてくれると同時に、若い世代が卒業後もつながり学び合うことの大切さ、その居場所をどう確保していくのかという課題に関わる内容でもありました。

今回の報告は、四国中央市の今後の青年部の活動に弾みをつける一歩になっただけでなく、県内の解放運動にも大きな影響を与える貴重な報告になったと思います。

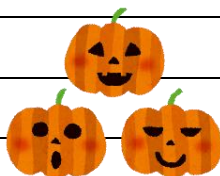
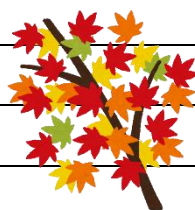
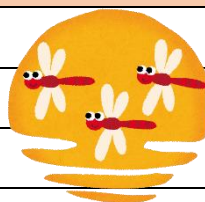
(館長 村上正哲)

隣保館カレンダー

10月

10月の隣保館講座のお知らせ

日	曜日	行事予定
1	木	スローエアロビック 10:00~
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	スローエアロビック 10:00~
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	3B 体操教室 10:00~
14	水	
15	木	スローエアロビック 10:00~
16	金	
17	土	土曜講座【ウェルピア伊予】 13:00~
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	スローエアロビック 10:00~
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	各種相談日 10:00~(内容:職業・人権など)
27	火	3B 体操教室 10:00~
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	



スローエアロビック教室、
1日(木)、8日(木)、
15日(木)、22日(木)の4回、

3B 体操教室、
13日(火)、27日(火)の2回、
いずれも10時から行います。

興味のある方は土居隣保館まで
ご連絡ください。

参加者の皆様においては、
感染症拡大防止対策への
ご協力をお願いします。



性的指向・性自認等理解促進の ためのパネル展示

人種や障がいの有無などの違いを
理解し、お互いを認め合う社会の
実現に向けて、身近な存在として
の性的マイノリティに対する正しい
理解と認識を深め、性的マイノ
リティの人権を尊重する社会づく
りに寄与することを目的として、
「性的指向・性自認等理解促進の
ためのパネル展」が行われます。
近くにお越しの際は、ぜひお寄り
ください。

展示物

- ① 「OUT IN JAPAN」 写真パネル
- ② 性的マイノリティ啓発用パネル

期間 令和2年10月1日(木)
~10月8日(木)

場所 四国中央市市民交流棟ロビー

主催 愛媛県、愛媛県人権啓発活動
ネットワーク協議会

